

作業性も性能も段違いの機器を導入し 高速道路の安全にも貢献

高性能の空圧式杭打機械を導入することで作業性と品質が大幅に向上。
さらに、それまで対応できなかった新市場への参入を果たすことができました。



代表取締役

伊ノ脇 亮

いのわき りょう

念願だった高速道路の ガードレール設置工事を受注

路の安全を守るのに
欠かせないガード
レール。創業以来、そのガー
ドレールの設置工事を専門
に行い、現在はフェンスや
標識などの交通インフラの
設置工事も手掛ける同社。
近年は、「少数精鋭体制の
構築」、「元請けへの参入に
よる利益性向上」などを
重点課題として捉え、その
解決策を模索していました。

その解決に欠かせなかつ
たのが、主要業務であるガー
ドレール設置工事の生産性
と品質の向上だったのです。

「二番課題を抱えていたの
はガードレール設置工事の
主工程である支柱の打ち
込み作業で、解決するため
には既存の支柱の打ち込み
機を更新するしかありま
せんでした。」

これまでの機械では、
構造と出力の関係
で、支柱を打ち込むのに
最低2名が必要だった上、

支柱が長くて径も大きい
高速道路のガードレール
設置工事を受注できずに
いた同社。そんな状況を
一変させたのが、ものづく
り補助金を活用して導入
した高性能の空圧式杭打
機械でした。

「杭打機を導入して本当に
良かったです。一人でも
安全に作業ができるよう
になった上、従来機器に比
べて生産性が2倍になりま
した。そして何より大きい
のが、うちのような規模の
小さな会社が高速道路の
ガードレール設置工事に参
入できるようになったこと
です。従業員一同、大きな
仕事に関われるようになっ
た喜びを感じています。」

今後も、この機械を活か
して、東九州道や都城志
布志道路の延伸工事に
関わり、地域のみなさまの
交通安全に貢献してい
きたいと思っています。」

打ち込める支柱の数が2倍に！

従来機器では1日に打ち込める支柱の数が60～80本だったのが100～150本に。しかも2人必要だった作業員が1人で済むようになり作業効率が大幅に向上しました。

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント！



1人が支柱を支え、もう1人が操作を行っていた
支柱打ち込み作業を1人でできるように。



1,650cmの深さまで
打ち込む必要がある高
速道路のガードレール
の支柱もわずか5分ほど
で作業完了。



同時に導入した削岩機を
取り付ければ、それまで
外注していた岩盤の削孔
もできる。

ものづくりへの想い

私たちが設置するガードレールなどは一度設
置すると長期にわたって残っていきます。施工
に関わった場所を通る度に、「ここ、お父さん
たちがつくったんだよ」と家族にも自慢でき
る、やりがいのある仕事です。

今後の展望

これまで地域のみなさまに支えられてきまし
た。これから先も交通安全施設工事を通じて
みなさまに恩返しを続けると共に、建設分野
以外への展開も強化して会社をさらに成長さ
せていく所存です。

case 04 総合工事業 株式会社 九州ロード

設立：2018年
資本金：500万円
従業員：6名
事業内容：ガードレール設置工事等

〒889-1701
宮崎県宮崎市田野町甲3741番地30
TEL.0985-86-1408
FAX.0985-68-3115

<https://kyushu-road.com/>

